

I 第22週の発生動向 (2011/5/30~2011/6/5)

1. 水痘については、むつ保健所管内において、新たに**注意報**が発令されています。
2. 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内において、新たに**注意報**が発令され、むつ保健所管内においては、第47週から**警報**が継続しています。
3. インフルエンザについては、全ての管内において、警報・注意報は解除されています。(詳細についてはV県内インフルエンザ情報をごらんください)。

II 第22週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		東地方(再掲)		青森市(再掲)			
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 +内科	(85) インフルエンザ	6	0.4	25	1.7	32	2.3	4	0.6	20	2.2	35	7.0	122	1.9	-67	4	2.0	2	0.2
小児科	(74) RSウイルス感染症	2	0.2	2	0.2					5	0.8			9	0.2	4			2	0.3
	(75) 咽頭結膜熱	8	0.9	4	0.4									12	0.3	-10			8	1.0
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	1.8	9	1.0	2	0.2	1	0.2	7	1.2	3	1.0	38	0.9	14			16	2.0
	(77) 感染性胃腸炎	61	6.8	31	3.4	9	1.0	8	1.6	14	2.3	15	5.0	138	3.4	-16	9	9.0	52	6.5
	(78) 水痘	12	1.3	12	1.3	8	0.9	4	0.8	2	0.3	20	6.7	58	1.4	-8			12	1.5
	(79) 手足口病	1	0.1	12	1.3	2	0.2	2	0.4					17	0.4	5			1	0.1
	(80) 伝染性紅斑	3	0.3	3	0.3	2	0.2			1	0.2	1	0.3	10	0.2	1			3	0.4
	(81) 突発性発疹	4	0.4	10	1.1	2	0.2	1	0.2	4	0.7	2	0.7	23	0.6	11			4	0.5
	(82) 百日咳															0				
	(83) ヘルパンギーナ			3	0.3	1	0.1								4	0.1	2			
	(84) 流行性耳下腺炎	7	0.8	1	0.1	18	2.0			22	3.7	11	3.7	59	1.4	14	1	1.0	6	0.8
	眼科	(86) 急性出血性結膜炎														0				
(87) 流行性角結膜炎						1	0.5							1	0.1	-1				
基幹	(92) クラミジア肺炎														0					
	(93) 細菌性髄膜炎														0					
	(95) マイコプラズマ肺炎			7	7.0							3	3.0	10	1.7	-7				
	(96) 無菌性髄膜炎														0					

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注:届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患):青森市2人、弘前2人、五所川原1人、上十三1人 (23年計:148人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患):青森市1人 (23年計:4人)

IV 病原体検出情報 ※()内は、検体採取日及び検査材料です。

- ・感染症発生動向調査による病原体検出について、弘前地域から以下のウイルスが検出されました。
 下気道炎患者7名(鼻咽頭ぬぐい液、鼻汁)・・・RSウイルス:2名(4/21、4/22)、ライノウイルス:2名(4/21、4/26)、ヒトボカウイルス:2名(4/25、5/2)、ヒトメタニューモウイルス:1名(4/26)
 上気道炎患者2名(鼻咽頭ぬぐい液、鼻汁)・・・ライノウイルス及びヒトメタニューモウイルス、アデノウイルス2型:1名(4/21)、ライノウイルス:1名(5/3)
 薬疹、急性上気道炎患者1名(うがい液、4/26)・・・ライノウイルス
 腸重積患者1名(直腸ぬぐい液、4/27)・・・アデノウイルス31型



腸管出血性大腸菌感染症 (三類全数把握疾患)

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素を産生する大腸菌を病原体とする感染症です。大腸菌のO抗原による血清型には、O157、O26、O111等がありますが、国内ではO157による感染が主流です。感染力が強く、少ない菌数でも発症します。また酸抵抗性が強いので胃酸中でも生き残ります。

症状は、3~5日の潜伏期間後に激しい腹痛、水様性下痢、著しい血便、軽度の発熱を呈します。溶血性尿毒症症候群(HUS)、脳症等の合併症が発症する場合があります。

感染は、菌の付着した食品、保菌者の便で汚染されたものの摂取による経口感染です。感染予防のためには、生肉、加熱不十分な肉は食べないようにして、手洗いを励行することが重要です。幼児、高齢者は特に注意が必要です。食品の加熱は、75℃、1分間以上が目安になります。(IDWR 国立感染症研究所「感染症の話」参考)

国内では、例年、夏をピークに流行が発生し、年齢別では0~9歳で最も多く発症しています。県内の過去2年間の届出数は、8、9月に多い傾向にあります。

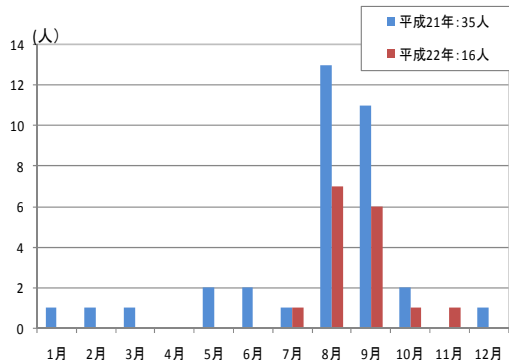


図 平成21~22年の県内届出数

V 県内インフルエンザ情報

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

(人)

保健所名	週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方			5	8	20	32	20	15	15	16	28	20	10	12	12	13	11	12	18	12	5	3	3	4
弘前		6	29	131	198	233	138	103	63	50	41	78	104	127	137	141	181	295	257	118	37	13	16	25
八戸		12	48	121	316	285	247	133	80	44	39	53	34	35	53	36	64	146	196	102	75	92	72	32
五所川原		2	27	46	80	114	82	38	7	24	31	31	38	25	22	22	32	40	59	32	14	13	5	4
上十三		6	123	243	283	284	142	98	60	59	35	48	44	51	82	76	77	129	144	85	43	46	23	20
むつ		1	11	68	137	207	131	79	57	75	109	79	70	46	16	14	25	59	110	74	44	70	69	35
青森市		7	27	93	232	267	198	148	110	152	220	463	455	295	274	167	150	197	130	68	24	3	1	2

A型（迅速診断キットによる型別です）

保健所名	週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方			5	8	20	32	20	13	15	2		10	6	6	4	1								
弘前		6	29	131	198	232	138	103	63	45	35	33	17	22	24	21	35	2						
八戸		12	48	121	299	263	236	122	76	42	36	47	33	25	21	14	13	33	64	10	28	46	33	13
五所川原		2	27	46	79	114	81	37	7	17	17	10	10	6	13	5	4	4						
上十三		5	112	231	267	272	111	94	57	45	27	43	25	17	28	13	20	31	26	10	4	15	6	2
むつ		1	11	68	135	206	130	79	56	75	109	75	56	33	6	2	1	3	1	1				1
青森市		7	27	89	227	257	181	117	71	59	45	138	71	26	14	2	1	2		2	1			

B型（迅速診断キットによる型別です）

保健所名	週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方								2		14	28	10	4	6	8	12	11	12	18	12	5	3	3	4
弘前					1					5	6	45	87	105	113	120	146	293	257	118	37	13	16	25
八戸				1	1	1			2		1	5	1	9	32	21	45	102	116	87	43	44	37	18
五所川原							1			7	14	21	28	19	9	17	28	36	59	32	14	13	5	4
上十三		1	1				2		3	10	8	4	16	34	40	58	54	100	114	74	36	31	15	17
むつ				2	1	1			1			4	14	13	10	18	24	56	109	73	44	70	69	34
青森市					1	10	15	25	71	151	287	350	265	254	161	148	195	129	65	22	3	1	2	

年齢区分別

週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
～5ヶ月		2	3	8	8	4	2			2		1	1	3		2	2	2						
～11ヶ月		6	14	20	24	10	13	7	11	5	8	6	9	4		7	5	9	6	5	8	6	2	
1歳		4	32	52	63	46	27	21	21	22	28	28	18	28		33	26	23	18	14	12	10	5	
2歳		8	26	31	53	26	18	17	13	19	25	18	17	30		27	41	38	9	11	10	7	4	
3歳		6	26	42	43	38	35	15	31	24	37	36	43	59	1	49	49	62	25	16	14	9	2	
4歳		5	27	61	54	42	30	24	32	44	75	58	62	48	7	46	65	88	40	14	18	18	8	
5歳		5	13	34	55	38	41	29	36	41	66	66	51	67	45	49	47	60	33	12	19	12	2	
6歳		3	10	35	42	49	34	17	32	49	68	55	53	62	38	39	81	86	51	13	28	16	15	
7歳	1	4	17	37	29	24	25	23	28	33	119	98	50	50	51	38	85	92	52	17	20	12	7	
8歳	3	3	13	34	56	48	25	11	25	51	80	77	38	37	70	38	82	83	35	13	15	17	9	
9歳	1	4	9	58	56	50	30	24	14	30	51	52	36	35	61	35	85	79	29	6	8	9	3	
10～14歳	3	16	52	176	291	171	117	63	53	78	135	162	126	99	47	101	176	179	113	71	62	50	53	
15～19歳	2	18	52	103	110	64	16	21	19	11	11	10	11	7	32	14	56	58	17	11	11	9	3	
20～29歳	7	85	157	185	130	101	42	34	18	18	17	16	16	22	29	20	29	11	26	11	2	3	3	
30～39歳	6	45	88	142	164	79	46	34	29	24	21	37	30	25	14	21	24	22	16	13	5	6	4	
40～49歳	4	21	70	95	89	85	35	22	26	15	12	11	13	8	48	6	13	11	10	4	4	1	1	
50～59歳	4	23	63	109	98	47	44	15	22	18	7	6	7	6	9	6	2	2	1	1	2		1	
60～69歳	2	8	23	33	32	16	20	9	6	14	4	10	6	5	14	4	9	3	5	3	2	2		
70～79歳		3	12	9	21	15	12	2	3	3	6	5	3	1	14	2	1		4	6				
80歳以上	1	1	3	2	4	5	2	4	1	2	2	3	1		10	3		6	1	1		2		

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）単位：人 2010年第51週～2011年第21週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
51	H22.12.20 ~ H22.12.26		レジオネラ症1人	急性脳炎1人			
52	H22.12.27 ~ H23.1.2						
1	H23.1.3 ~ H23.1.9						
2	H23.1.10 ~ H23.1.16						
3	H23.1.17 ~ H23.1.23						
4	H23.1.24 ~ H23.1.30			腸管出血性大腸菌感染症1人			
5	H23.1.31 ~ H23.2.6	腸管出血性大腸菌感染症1人	急性脳炎1人	麻しん1人			
6	H23.2.7 ~ H23.2.13			麻しん1人			
7	H23.2.14 ~ H23.2.20					腸管出血性大腸菌感染症1人	
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		腸管出血性大腸菌感染症3人				
10	H23.3.7 ~ H23.3.13		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	梅毒1人			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20						
12	H23.3.21 ~ H23.3.27						
13	H23.3.28 ~ H23.4.3						
14	H23.4.4 ~ H23.4.10						
15	H23.4.11 ~ H23.4.17			麻しん1人 アメーバ赤痢1人		麻しん1人	
16	H23.4.18 ~ H23.4.24						
17	H23.4.25 ~ H23.5.1			レジオネラ症1人			
18	H23.5.2 ~ H23.5.8						
19	H23.5.9 ~ H23.5.15	つつが虫病1人					
20	H23.5.16 ~ H23.5.22					つつが虫病1人	
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			

VII 結核（二類全数把握疾患） 2010年第51週～2011年第21週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
51	H22.12.20 ~ H22.12.26	3	2	6	3		1
52	H22.12.27 ~ H23.1.2		1	1	1	1	
1	H23.1.3 ~ H23.1.9	2	1	2	4		
2	H23.1.10 ~ H23.1.16		1	2	2	1	
3	H23.1.17 ~ H23.1.23		1	5	3		
4	H23.1.24 ~ H23.1.30		1	2		4	1
5	H23.1.31 ~ H23.2.6	2	1	2			
6	H23.2.7 ~ H23.2.13					1	1
7	H23.2.14 ~ H23.2.20		1	1	1		
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		2		5	1	1
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		3	1		1	
10	H23.3.7 ~ H23.3.13	2	1	3			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20	2		2	1	2	1
12	H23.3.21 ~ H23.3.27		1	1			
13	H23.3.28 ~ H23.4.3	1	2	2		1	
14	H23.4.4 ~ H23.4.10	2	2	6	1	2	
15	H23.4.11 ~ H23.4.17	1	2	4	1		
16	H23.4.18 ~ H23.4.24	4		4	3		
17	H23.4.25 ~ H23.5.1	1	1		1		
18	H23.5.2 ~ H23.5.8	1	1	1	2		
19	H23.5.9 ~ H23.5.15		2	2	3	1	
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	2	

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2011年6月6日19時集計速報値

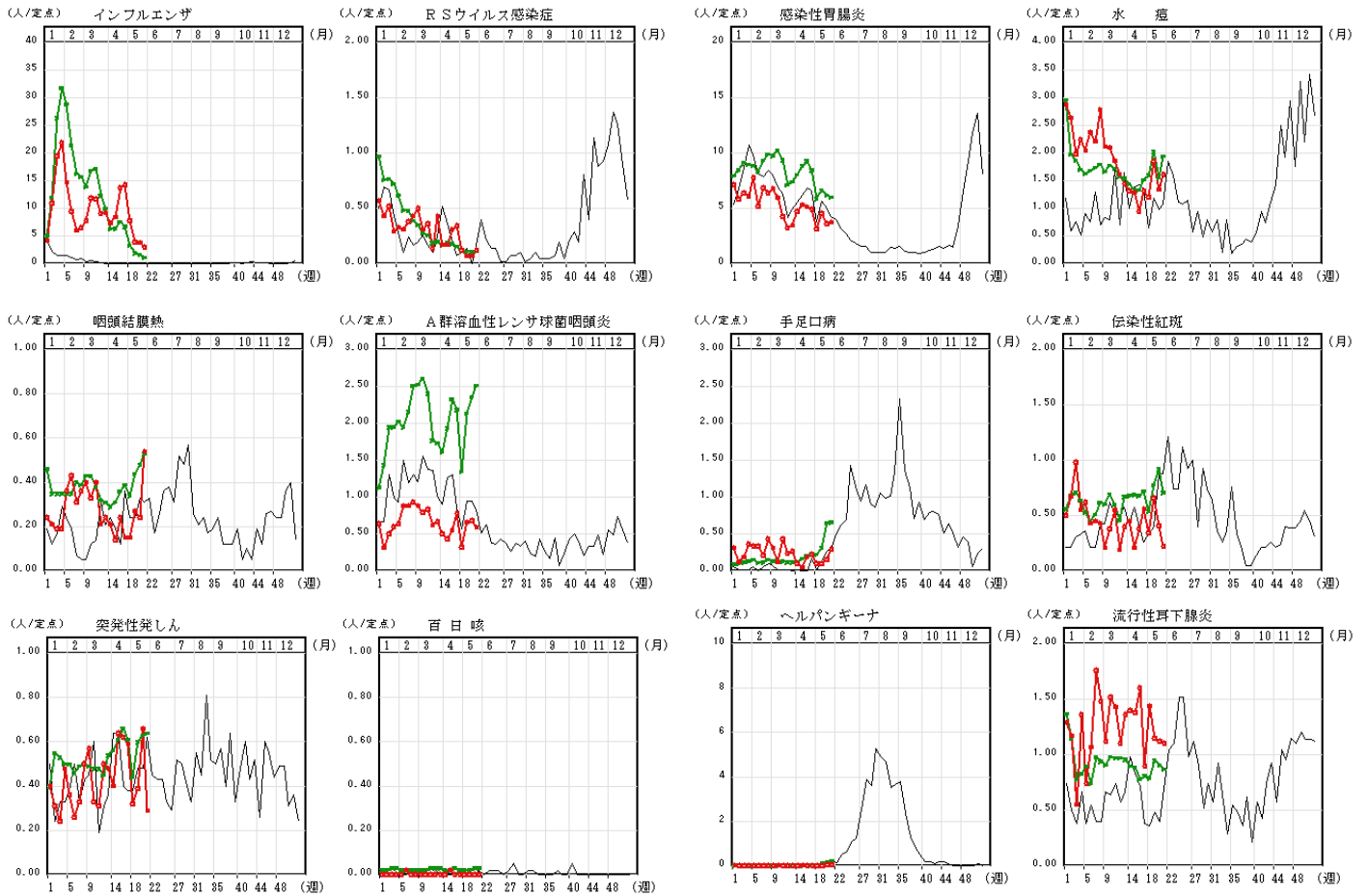
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリス症	マラリア	ライム病	
全国	1	11424	2	82	547	6	12	30	123	10	7	2	4	90	40	11	1	2	23	2
青森県	0	148	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0

	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	
全国	214	5	310	93	143	4	45	97	554	27	5	269	42	22	157	284
青森県	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	4

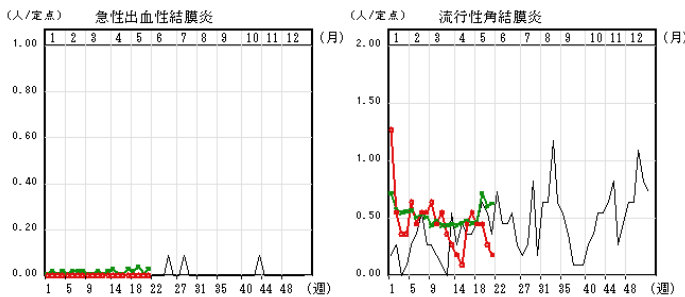
グラフの説明 ○—○は2011年青森県、——は2010年青森県、○—○は2011年全国

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2011年第21週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2011年第21週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2011年第21週

